

所属長印

同志社大学

2008年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2009年5月20日提出

所属	職名	氏名	印
法学部	教授	市川 喜崇	
研究題目	福祉国家の再編と中央－地方関係の変容に関する日英比較（その2）		
研究成果の概要	<p>上記研究題目に関連して、英国バーミンガム大学地方自治研究所で在外研究にあたり、関連文献を読み、また当地の研究者との意見交換をおこなった。</p> <p>Page, E. と Goldsmith, M. が 1987 年に <i>A Comparative Analysis of Western European Unitary States</i> を Sage 社から編集・出版して以来盛んになった中央－地方関係の類型論をてがかりに研究を進めた。</p> <p>その後韓国に渡り、日本と韓国がともに OECD 諸国の中で突出して公共事業大国であることに関して、このことが日韓の中央－地方関係に及ぼす影響について研究を進めた。日本には、総務省による県別「行政投資」実績調査と内閣府が GDP 調査の一環として実施している「県民所得」調査があり、これにより「公共事業大国」の地域政治への影響を測れるが、韓国にはそのようなデータがなかったので、釜山大学における受け入れ教官のアドバイスを得ながら、基礎的データの作成につとめた。</p>		